



2026年6月19日

各 位

会社名 株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名 代表取締役社長 高井 淳
(コード番号：155A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 瀧 本 崇
(TEL 03-6277-3461)

【情報戦略テクノロジー×ミロ・ジャパン】
Miro ソリューションパートナープログラムのパートナーに。

～「UI for AI」を掲げ、要件定義の前段から AI イノベーションワークスペースと生成 AI を統合する新しい DX デリバリーモデルの開発を開始～

株式会社情報戦略テクノロジー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高井 淳、以下「当社」）は、AI イノベーションワークスペース「Miro」を提供するミロ・ジャパン合同会社（以下「ミロ・ジャパン」）とパートナーシップを締結し、「Miro ソリューションパートナープログラム」のメンバーになることをお知らせいたします。本締結により、当社が提唱する「0次DX」においてMiroを生成AIのインターフェース（UI for AI）として活用し、コンサルティングから「AI 駆動開発」によるシステム実装までを一気通貫で支援する、独自の新しいデリバリーモデルの開発・展開を強力に推進してまいります。



記

■パートナーシップの締結の背景

デジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中、AI の活用は「個人単位」から「組織単位」へと進化しており、企業の競争力は「AI をいかにチームとして活用し、業務や意思決定に組み込めるか」にかかっています。しかし多くの企業では、経営層から現場のリアルタイムな状況が見えず戦略が形骸化する課題や、社内に散在する「言語化されていない意図（暗黙知）」を拾い上げきれず、要件定義の段階でズレが生じてしまうといった複合的な課題に直面しています。

本パートナーシップの締結により、組織文化をアップデートする「AI イノベーションワークスペース」である Miro を活用し、当社のシステム内製支援プロセスと統合することで、AI による知の拡張、人と AI の役割設計、変化に対応する組織への定着に向けた抜本的な変革を企図しています。



■協業を通じた新しいDXサービスデリバリーモデルの開発

ミロ・ジャパンとのパートナーシップに基づき、「可視化・戦略化・開発」の3つのフェーズをシームレスに繋ぐ、以下の実践的な取り組みを共同で推進いたします。

- **要件以前の混沌を紐解くビジュアル「キャンバス (Canvas)」の活用**
Miroを単なるコラボレーションツールではなく「UI for AI」として配置し、顧客内に散在する情報資源や要件定義前の混沌とした状態を、無限のビジュアルキャンバス上で可視化します。経営層（意思決定者）と現場が同じ視界を共有することで、戦略の実行確度を高めます。
- **視覚的意図をスピーディに開発へ繋ぐ「アジャイル (Agile)」アプローチ**
キャンバス上で可視化された経営と現場の意図を、アジャイルの思想を用いて実行可能な戦略とロードマップへと変換します。ビジネス課題の優先順位を明確に定義し、変化に柔軟に対応することで、「要件定義のウソ (ズレ)」を構造的に防ぎます。
- **AIと協働する次世代「エンジニア (Engineer)」によるプロダクト開発**
策定された戦略を、AIが主体となって自律遂行する開発プロセスへ接続します。開発部門向けに、AIによる自動モックアップ生成やワークフロー自動化を組み込み、次世代型のエンジニアリングを実践することで市場投入までの期間（タイム・トゥ・マーケット）を大幅に短縮します。

■両社コメント

株式会社情報戦略テクノロジー 取締役 川原 翔太

当社は「0次DX」を通じて企業の変革を支えてまいりました。急激に変革するこれからの組織においては、「AIとチームの力を掛け合わせる」ことが不可欠です。今回のパートナーシップにより、Miroソリューションパートナープログラムのメンバーとして、ミロ・ジャパン様とともに新しいデリバリーモデルを展開できることを大変嬉しく思います。Miroを「UI for AI」として最大限に引き出し、経営層の戦略共有から現場の製品開発まで、AIとともに進化する自律的なIT組織の構築を支援することで、お客様の競争力強化に貢献してまいります。

ミロ・ジャパン合同会社 代表執行役社長 向山 泰貴 氏

AIが個人の生産性を変える段階を超え、組織の意思決定とアウトプットを変える時代に入っています。Miroは、チームとエージェントが一緒に考え、計画し、実行するためのAIイノベーションワークスペースです。Miroの可能性をお客様の現場で活かすためには、業務に向き合いながら変革をともに設計し、実装するパートナーの存在が欠かせません。情報戦略テクノロジーの実装力とMiroを掛け合わせ、両社の協業でAI時代の新しい変革を日本のお客様にお届けしてまいります。

■今後の展望

本パートナーシップに基づく共同取り組みはすでに開始しており、今後は初期ユースケースの創出を通じて、本デリバリーモデルの本格展開に向けた準備を進めてまいります。また、本モデルをベースとした新たなソリューションサービスの提供開始も予定しております。

直近の活動として、2026年7月9日（木）にヒルトン東京にて開催される、ミロ・ジャパン主催の大規模カンファレンス「Canvas 26 Tokyo」において、ブーススポンサーとして協賛・出展いたします。本イベントを通じて、実務に直結する戦略やワークフローの変革ヒントを発信し、日本企業のDX内製支援とデジタル競争力の向上に継続して貢献してまいります。

■会社概要

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロース・155A）

代表者：代表取締役社長 高井 淳

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F

電話：03-6277-3461

事業内容：大手企業向けDX内製支援サービス等

URL：<https://www.is-tech.co.jp/>

以上